



# しばた 議会だより



次代に残したい柴田の風景  
子どもが主役のお祭り

(富沢地区)

## CONTENTS

第2回定例会	●行財政改革特別委員会中間報告	4
	●ここがズバリ聞きたい(一般質問)	6
常任委員会活動レポート		14
あなたの一言		16

# 第2回定例会

平成15年6月13日に定例会を開会し、18日に閉会しました。定例会の概要は、条例3件、補正予算2件、議会の議員の報酬及び費用弁償等を改正する条例、柴田町議会政務調査費の交付に関する条例を審議し、原案のとおり可決しました。

## 国民健康保険税の税率が変わりました

国民健康保険税の税率については、平成15年度の町民税の所得割が確定し、前年度の税率で試算したところ、応益賦課割合の不均衡が生じる危険性があり、被保険者間の負担の公平と低所得者に対する負担の軽減を維持し、安定した税収の確保に努めるため税率の改正を図りました。

## 住民基本台帳カードの交付手数料を追加

平成15年8月25日、住民基本台帳ネットワークシステムの第2次稼動が施行されるのに伴い、広域交付住民票の写し及び住民基本台帳カード等に追加規定しました。

## 槻木にも在宅介護支援センター



槻木事務所

今後ますます高齢化が進み、それに伴い要介護高齢者の増加が予想されます。槻木地域における相談・支援体制の充実を図るため、新たに槻木事務所内に在宅介護支援センターを設置します。これにより管理は社会福祉法人常盤福祉会に委託をすることができるようになりました。開所は10月の予定です。

## 議員の費用弁償を廃止

議員の提案により議会の行財政改革が提案されました。議員が議会・委員会に出席した時は、出席費用弁償が支給されていたが、出席費用弁償の廃止、近

## 議会政務調査費を減額

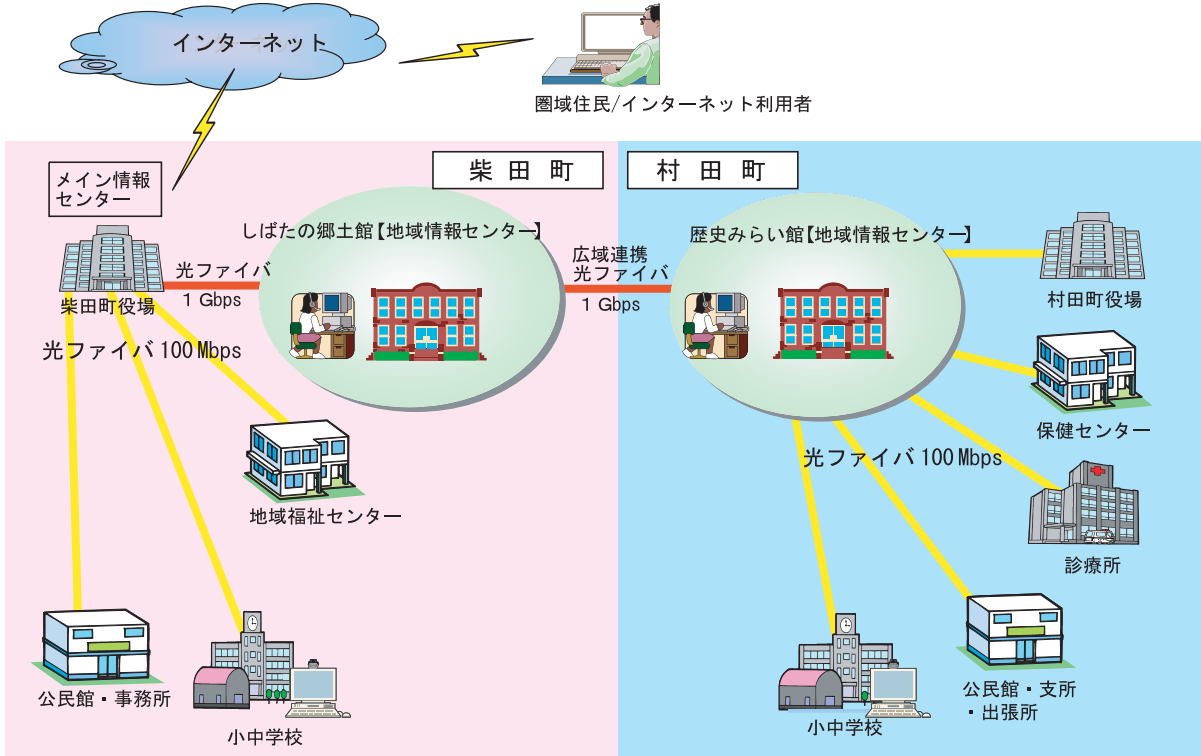
議員の政務調査費一人月額5千円となっていました。平成15年度より月額4千円に減額となりました。



遊歩道現地調査

## 遊歩道の設置に関する 請願を不採択

平成15年第1回定例会において町民の健康維持を目的として葦神山から太陽の村を経由し、羽山神社までの遊歩道の設置が請願されました。議会では文教厚生常任委員会に審査を付託しました。委員会では必要性を認めながらもこの遊歩道ルートには隣接町や民有地が大分含まれる上、上野山古墳群の埋蔵文化財包蔵地の指定による法規制もあり、当面は事業化が困難と判断し不採択とすべきものと決しました。



平成14年度柴田町・村田町連携地域インターネット基盤施設整備工事請負契約に関する議案を審議可決しました。

柴田町・村田町連携事業で公共施設間を光ファイバをもって接続する高速情報通信網の整備により広域的な情報基盤を構築する。(総務省補助事業)業者選定は技術提案方式で7社の提案を受け柴田町・村田町で構成する審査委員会を設置し審査の結果、東日本電信電話(株)宮城支店に決定、随意契約を締結。契約金額は消費税を加算し2億3千835万円、工期は平成15年11月30日まで。工事内容は柴田町・村田町の67施設のネットワーク化のうち37施設を光ファイバで接続、総敷設距離は約52km、各施設に必要な機器設備、改修工事を行うものである。



## 住民サービスにどう役立つ

- 質疑** 柴田町・村田町、大河原町間接続ルートと なっているのは三町合併 を見越している意味か。
- 答弁** 大河原町は単独で 14年度に工事し稼働して いる。合併前提ではない が、将来広域化が必要。
- 質疑** 柴田町と村田町の 負担割と国庫補助割合は、
- 答弁** 負担割は柴田町55・ 99%、村田町44・01%で 負担協定書を取り交わし ている。国庫負担はそれ ぞれ2分の1で柴田町6 千672万円余の補助となる。
- 質疑** この光ファイバは 公共施設から各家庭ま で及ぶのか。
- 答弁** 国の補助事業なの で公共施設のみである。
- 質疑** 今回のイントラネ ットの整備で住民票や印 鑑証明が地域で入手でき るシステムになるのか。
- 答弁** 住民票の住民サー ビスは別の住基ネットの 方で対応することになっ ている。今のところカー ドでの住民票交付は今後 の検討課題という状況で ある。
- 質疑** ITよりも通学路 の安全確保を優先すべき でないか。
- 答弁** 政策の選択は、い ろいろ考えられる。道路 も大切だが将来の産業を 見越して都市の発展と いった場合、情報基盤の 整備をさちつとしていか ないと地域経済が回らな い。補助金、起債も使え るこの好機を捉え政策の 優先順位は高いと判断。
- 質疑** 業者指名にあたり プロボーザルコンペ方式 をとった理由は。
- 答弁** 工事の技術的特殊 性から技術提案型の方が 効率的また経済的である。
- 質疑** 予定価格に対し最 も低い価格が採用される べきでないか。
- 答弁** 価格よりも技術・ 設計力・ソフト開発・将 来のシステム管理運用に ウェイトを置いて決定。

# やるしかない行政の効率化

## 行財政改革特別委員会

### 議会内に行財政改革委員会の設置熱望

平成8年6月、柴田町行財政改革推進本部が設置された。その理由は、景気回復の遅れ、町税や地方交付税などの歳入の伸び悩み、さらに、地方分権時代にふさわしい簡素で効率的な行財政システムの確立、そして、新たな行政需要に耐えられる町づくりに、行政自ら率先して取り組む必要からであった。平成9年から平成13年の5カ年計画の「柴田町行財政改革大綱」の諮問を受けた。実行機関として助役を委員長に課長補佐以上で「柴田町行財政改革検討委員会」を立ち上げた。

平成14年5月、大綱に基づく実施計画の達成度が発表された。改革100項目の内、完了50%、継続実施25%、対応中7%、未対応18%。完了したものの、中身は残念ながら期待された当初の目的を達成したものとは言えなかった。

### 委員会は今までどんな事をやって来たのか

昨年の12月定例会で議員提案により全員一致で議会内に7名の行財政改革特別委員会の設置をみた。期間は今年の11月30日までで、12月定例会に議会から柴田町長へ提言することになった。第1回委員会で委員長に佐藤輝雄、副委員長に舟山邦夫が選任された。

委員会の基本は議会として不満だった「柴田町行財政改革大綱」を下敷きとして、町民の目線できちんと、検討を加えるとした。さらに、できるだけ結果を数字で出すこととした。委員会の方向づけを決めた後、具体的な作業に入って行った。これ

- 6月 福祉課、槻木事務所、農政課の審査
- 5月 企画調整課、税務課の審査及び議会議事の本まとめ
- 4月 社会教育課、教育総務課、会計課の審査
- 3月 監査委員事務局の審査
- 2月 改革ヒアリングのまとめ、古川市議会行政視察、議会及び議会事務局の審査
- 1月 各課長等からの改革ヒアリング
- （これまでの経過）
- までの委員会開催は23回に及んでいる。



写真(右から)  
加藤 徳 廣 委員  
舟山 邦夫 副委員長  
佐藤 輝雄 委員長  
佐藤 賢一 委員  
杉本 五郎 委員  
加茂 力男 委員

員会メンバー



行財政改革特別委員会

## 委員会は今後 どう進んで行くのか

(今後の予定)

- 7月 建設課、都市計画課、下水道課の審査
- 8月 水道事業所、生活環境課、商工観光課、農業委員会の審査
- 10月 財政課、健康推進課、総務課の審査
- 11月 行財政改革の総まとめ

以上のことを残してようやくやく委員会も期限の半分以上を経過した。その作業の中から町民に対し無理を強いている

こと、平等でないこと、特に無駄なこと等々、浮き彫りになって来た。ただ、町民の方々が理解できないような事務事業は、大方が国県の個別法等の縛りのあるもので、今後、この対処は国の構造改革との絡みもあるが、職員に熱意に期待したい。

委員会も縦思考を横思考に、また、多極分散を一極集中の発想に、利用者思考の経営感覚も含めて検討していくし、ひるまず提言をしていく所存だ。

## 議員提案により 6月定例会で決まった事案

柴田町議会の行財政改革特別委員会は精力的に協議を重ねてきた中で、まず自らの改革を論議し実行することが「行財政改革の第一歩」と位置づけ判断し、今回最終報告を待たずに前倒しをして実践するため、中間報告を行った。

これに伴い、2件の関係条例も可決した。

## 議会にかかる行財政改革 (中間報告)

- 1 町長の諮問機関である審議会等委員の議員就任は、今後可能なものから逐次就任しないものとする。
  - 2 出席費用弁償は廃止とする。隣接市町への出張は職員同様、日当を廃止する。
  - 3 議会運営委員会及び常任委員会の行政視察の研修旅費は、10万円を上回る。
  - 4 議長交際費に関するガイドラインを作成する。
  - 5 議会傍聴者用に一般質問通告書の写しを備える。
  - 6 政務調査費は月額4千円とする。
- 平成14年度ベースで試算・推定すると、平成15年度の経費節減額は約270万程度となる。

## 平成15年第2回定例会に 議員提案した関係条例

- 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 柴田町議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

# 一般質問

あなたにかわごと

# ここが聞きたい

ズバリ



一般質問は6月16日、17日の2日間行われ、25項目について12人の議員が質問しました。

質問と答弁の内容についてお知らせします。

## 町民の皆様へ

町民の皆様には、ご愛読まことにありがとうございます。

議会だよりは、町民と議会を結ぶ唯一の広報紙と考え、私たち編集委員一同、町民の立場に立って、今、議会で議論されている本質は何なのかを常に考えながら編集しています。議場の雰囲気は少しでも皆様に伝われば幸いです。

さて、この広報紙は議長より指名された議員で構成される議会広報特別委員会で作っています。

いついつられる

## 議会だより

その作業は、記事の選定や文章作成、レイアウトから写真撮りまですべて手づくりで行っています。

また、皆さん注目の一般質問に関しても、質問文章、答弁文章、タイトルまで**質問した議員自身**が作成しており、制限された文字数に、苦労しながらまとめています。

今後も議会・議員が主体的につくる姿勢は続けていきたいと思っておりますので、ご愛読よろしく願います。



我妻弘國 議員

**問** 5月1日健康増進法が施行されました。多数の人が利用する施設を管理する者は受動喫煙防止に必要な措置を講ずるよう努めることとなっております。しかし、罰則はありません。

4月から町内の幼稚園、保育所、小・中学校の敷地内は全面禁煙になっていきます。県内で最初に禁煙を施行した町として新聞でも大きく紹介されました。その流れからいつでも町内の公共施設の全面禁煙を進めるべきと考えます。公共施設の全面禁煙をするか、できないとすれば健康管理の意味でも非喫煙場所に煙が漏れない喫煙室の設置を提案します。

**Q**

## 町内公共施設を 全面禁煙に

**A**

### 年次計画を立て分煙化を進める

**答** 滝口町長 庁舎内も一部分煙になっているが、完全に分煙化はされていません。特に1階のオープンスペース部分では受動喫煙が心配されます。10月をめどに1階東側の職員休憩室（元食堂の場所）、議員控室に空気清浄器を取り付け、分煙化を図りたい。他の公共施設においても予算が大変厳しいので年次計画で分煙化を進めていきます。



槻木文化センターの喫煙場所



舟山 彰 議員

## 滝口町政の 1年を問う

**A**

### 町民との協働を進める



まちづくり委員会(IT部会)

**問** (1) 「行財政改革」を選挙公約にあげたが、15年度予算では結果的に町債発行額が前年度より増えた。この事実をどう町民に説明するのか。

(2) 「図書館建設」も公約にあげたが、選挙の時、柴田町として早く図書館を建設すると期待した有権者を裏切っていないか。

(3) 「まちづくり委員会」は、ごく一部の町民の意見だけ取り上げているのではないか。

(4) 通学路の安全確保

(5) 三町合併実現への熱意が今ひとつ弱いのではないか。

**答** 滝口町長 (1) 町債発行額が増えたのは、地方交付税が減額され、その穴埋めとして臨時対策債を発行したのが主な原因です。

(2) 確かに選挙の時にすぐにも図書館ができるのではと期待した人の夢を少し縮めた面はあると思いますが、財政難も理解されていると思います。

(3) 新たな取り組みを行う途中では色々な意見が出ます。異なった意見の衝突があつてこそ、協働によるまちづくりが本物になると思います。

(4) 住民が何を望んでいるか現場に足を運び判断しています。

(5) 望ましい合併について訴えています。



半澤勝好 議員

問

オストメイト（人工肛門・人工膀胱装着者）の方々がまだ自由に外出もできないのは大変気の毒なことです。

柴田町で二大イベント（桜まつり・菊人形まつり）を開催しているが、残念ながら柴田町の公共施設にオストメイト専用のトイレがありません。障害者の方々が体のことを考えると二の足を踏んでしまう。障害者の方々が気兼ねなく安心して参加してもらうためにも一日も早くオストメイト専用トイレを柴田町の公共施設に設置すべきであると思うが、町長の所見をお伺いします。

Q

オストメイト対応型トイレの設置を

A

必要なので前向きに努力していく



オストメイト対応型トイレ(宮城県庁 15 階)

答 滝口町長

オストメイトの方々は排泄が常時行われて、汚れる可能性がある。県内に設置されているのは県庁、仙台駅、古川駅、仙台空港ビル内、松島五大堂前等10カ所程度で、残念ながら仙南地区には未設置です。この種のトイレは必要なので、オストメイトの方々のご意見を取り入れて、設置に向けて努力していきます。



太田研光 議員

Q

自転車の盗難は減らないか

A

防犯体制を整え、盗難防止に努める



船岡駅南駐輪場

問

柴田町内では、平成14年度自転車の盗難が132件もあった。高校に進学して間もない生徒が駐輪場で盗難にあい、途方にくれているという話を聞くとやり切れない。出来心で自転車を盗む、自

答 滝口町長

柴田町内の自転車盗難件数は、平成14年度は132件で前年度より37件減少しています。本町の刑法犯罪のほとんどがこの種の窃盗犯罪で、このような風潮は極めて危険なことと認識してお

どう認識していますか。また、大切な社会規範を踏みにじる行為の人間が育っていくのではと、危惧するものです。具体的施策があればお示し願いたい。

己中心的な考え方が問題なのです。また、大切なことは町全体の人が厳しく対処していくことではないかと思うのです。町当局は一向に減らない年間130件以上もある自転車盗難の発生件数について、

ります。このため15年度には、警察と町が対策を講ずる犯罪の重点事項に、自転車とオートバイの盗難、車上荒し等の犯罪の抑止を挙げております。盗難防止のためには路上に放置しない、監視の

行き届いた駐輪場を利用して、二つの鍵を掛けることです。また、防犯実動隊によるパトロールの強化や地域防犯連絡所の活用など、地域の防犯対策に努めております。



Q

## やる気があるのか 入札制度改革

A

やる気はある。  
柴田町に合った  
入札制度の構築



舟山邦夫 議員



太陽の村から

問

長い間、この問題を  
考えてきた。発言もして  
きた。提案もしてきたつ  
もりである。

なのに、いまだに結果  
が出ない。  
そこで問う。

- (1) そろそろ改革への決  
断の時と考えるがどうか。
- (2) 地元企業育成は大切  
しかし、入札とは切り離  
して考えるべきと思うが  
どうか。
- (3) 健全なルールある競  
争があつて初めて地元企

業の育成が成り立つと考  
えるがどうか。

(4) 入札には常に談合の  
可能性があり得ると考え  
てのぞむことが、発注者  
(役場)には必要と考  
えるがどうか。

答

- 滝口町長 (1) 町と  
しても制限付一般競争入  
札や予定価格の事前公表  
など取り組んできた。  
今後についても、指名  
委員会を通じ種々検討さ  
れている。
- (2) 同じ条件なら地元企

業にやつてもらいたいと  
思うのは自然な感情であ  
る。しかし、全国的には  
これまでの入札では談合  
馴れ合いなどの問題があ  
るのも事実である。

- 地元企業を育成しつづ  
も、公正で公平、透明な  
柴田町に合った適切な入  
札制度の構築が今、求め  
られていると思う。
- (3) 最善の方法、競争ル  
ール確立に努力していく。
- (4) 談合の可能性を排除  
することが大切と考える。

問

(1) M8程度の大地  
震が宮城県沖で発生する  
確率は88%に高まった。  
町の防災計画では船岡  
駅前・船迫・槻木駅西側  
では、液化化の恐れが大  
きいとしている。この地  
区は小中学校や、公営住

宅、公共施設がある。ど  
う対策を講じているか。

- (2) 地域の自主防災組織  
の結成と育成を指導する  
としているが現状は。
- (3) 県と折半でのスクー  
ルゾーン内の危険プロッ  
ク塀等の除去や、木造住

宅の耐震診断の補助事業  
の実施状況は。

- (4) 5月の地震では活躍  
が期待された携帯電話も  
使えなかった。また、救  
急患者の受け入れに中核  
病院の対応には懸念があ  
る。



杉本五郎 議員

Q

## 大地震への備えを急げ

A

困難なものもあるが、  
全力を挙げる

答

滝口町長 (1) 液状  
化対策は、大規模工事で  
資金的にも町段階での対  
応は困難だが、ライフラ  
イン等の確保に全力を挙  
げる。

太田教育長 学校におけ  
る耐震診断は4校につい  
て終了。補強や改築等の  
検討すべきものもある。  
平間建設課長 古い町営  
住宅の耐震診断はしてい  
ない。

滝口町長 (2) 地域防災  
組織は4地区だけだが、  
婦人防火クラブ等による

自主防災訓練を  
している。

- (3) 危険プロッ  
ク塀等の除去の  
希望者は現在ゼ  
ロで、住宅の耐  
震診断希望者は  
12件となってい  
る。
- (4) 災害時にお  
ける通信手段の  
確保や、中核病  
院の対応につい  
ては、5月の地  
震を教訓として  
いく。



倒壊家屋の防災訓練



道路標識のない交差点



小丸 淳 議員

## Q 裏道での出会い頭事故防止のための道路標示を

### A 早急に事故多発交差点を把握し対処する

得て、裏道における出会い頭事故の発生、またはその恐れのある交差点を

精査し、道路管理者の職権内で必要な道路標示を

施すべきだと思いが、町長の所信をお伺いする。

**答 滝口町長** 町内では今年1月から3月までの3カ月間で交差点での出会い頭事故は14件発生している。この種の事故防止のため、提案のように各地区の行政区長や地域住民の皆様のご協力を頂き、早急に町内の出会い

頭事故多発交差点の把握に努め、道路管理者として必要な道路標示を施して参りたい。さらに、交通安全協会 榎木・船岡支部等の関係団体と協力し、一時停止 安全確認などの街頭指導 や、町民に事故多発地帯の周知を図り、事故防止を呼びかけたい。また、交通規制看板の設置を県公安委員会へ強く要望し、ハード面での交通事故防止にも努めて参りたい。



佐藤輝雄 議員

## Q 二本杉町営住宅の建て替え事業の見直しを

### A 合併や町財政を考慮に入れ検討する

**問** 今や国は膨大な借金を抱え、補助金や地方交付金の見直し、そしてカットと地方自治体の切り捨てを進めてきている。そういう時勢の中で柴田町は、今までの放漫経営がたたり、約400億円近い

借金にまで膨れ上がった。(1) 今日の経済状況と町の借金体質の脱却からも柴田町の長期総合計画の見直しは考えられないか。(2) 今年度10月完成予定の8号棟(59戸)は町持ち出し6億4千万円、先

に述べた国の政策の不透明さと柴田町の借金、入居者と納税者のアンバランス、工事費の民間格差からも次の9号棟の建設中止、もしくは合併後の課題とすべきと思うが。

**答 滝口町長** (1) 柴田町長期総合計画の理念は安心・安全・安定であります。本年度は美しく元気で賑わいのあるまちづくりを目指しており、当面は継続していきます。ただし、時期については合併までと考えます。

(2) 8号棟は10月完成予定であります。確かに指摘されているとおり、民間マンションと比較しても工事費が高すぎるし、また、その時代時代を生

活様式も変わってきています。答えはグレーゾーンになります。今は合併を視野に入れまして繰延

べできないものか検討しております。その際、木造での考えがあっても良いのかなと思います。



建設中の二本杉住宅

**Q** 願う  
通所授産施設



星 吉郎 議員

**A** 17年度に  
できるよう  
努力する



通所授産施設にて

**問** 本町に養護学校がありながら、知的障害者の通所授産施設ははらから共同作業所だけであり、定員15名に対して本町より5名の方々が通っている状況であります。障害を持つ人が、人間として生きがいを持ち、地域の中で自分らしく生活をしていくために、働く施設を建設するための活動であり、地域の一員として、地域で安心して働くことができ、毎日を豊

かにいきいきと暮らしていくためにも施設が欲しいということでもあります。  
**答** 滝口町長 今現在、仙南圏域では在宅者、養護学校卒業見込者の需要に応じるだけの施設がありません。行政運営の基盤は、住民が困っている事柄に遭遇した場合、その問題解決に向けて住民が立ち上がり、仲間を集めて資金集めに奔走している真剣な活動を支援していくことであります。

**用語説明**

通所授産施設とは障害を持つ人たちが通いながら働く施設

町として財政状況を見ながらできる限り支援をさせていただく考えです。用地についてははめどが立つが、16年度は大変厳しいので自己財源ができません。次の年にできるように財政課と詰めていくところです。



白内恵美子 議員

**Q** 合併後、自己財源を生み出す方法は

**A** 徹底した行財政改革が必要

**問** 三町合併を成功させるには、将来の財政シミュレーションを踏まえた議論を深め、議員も住民に対する説明責任を果たし、自ら身を切る覚悟を持った対応が必要です。議員が2年間の在任特別

を使うと4億2千万円もかかり、3町のかなり厳しい財政状況において可能かどうか疑問です。次の3点伺います。

- (1) 合併した場合としなかつた場合の財政シミュレーションを早急に公開できないか。
- (2) 合併特例債を使うために必要な自己財源を生み出す方法は、住民意向の確認には
- (3) 住民投票が最適だが実施するのか。その方法は、

**答** 滝口町長 (1) 合併特例債を全額利用できるのか、地方交付税の削減と特例債の3割負担をどうするのかの判断をするために財政シミュレーションは重要です。将来ビジョンの策定に盛り込むよう検討しています。



行財政改革を行わなければ財源は生み出せません。(3) 新市建設計画策定後、合併協議終了前に、合併

の賛否の意向確認を行います。方法は合併協議会において決定します。



優良田園住宅「ゆずが丘」



加藤徳廣 議員

## Q 行政・企業・町民 三位一体の町独自の経済活性化 対策を

### A 三位一体の政策の方向性と 可能性を積極的に検討

**問** 長引く経済不況、先のまったく見えてこない社会情勢の中で自主財源の減少、地方交付税・国県支出金は年々削減され、今後の町の財政不足につながります。財源をどう確保しようとお考えですか。また、町の活性化を図るため、行政・企業・町民が三位一体となって利益を追求する柴田町独自の経済政策を立案することを強く要望いたします。この政策は自由競争の中で唯一の財源確保と

考えられますので、所見をお伺いいたします。このほか、財政難から経費削減と少ない財源を高度に利用することは、行政の当然の責務と考えますが、所見をお伺いします。

さらに、なかなか回復しない地域の経済、元気のなくなっている商店街の活性化につながるため、行政・企業・町民が三位一体となって将来の産業、商業、観光等のありかたを考える必要があるかと考えます。また、町民の血税を無駄にせず、一層の経費削減を図り、不況を下を安閑と傍観することなく一丸となって我が身に置き換え、こうした意識を持ち、対応するよう徹底して参ります。



加茂紀代子 議員

## Q 安心安全を重視した 農政へ

### A 郷土の食文化を後世に残していく

**問** 食材の購入時に、外国産、他県産の表示が多い。柴田町は、青々とした農産物が豊富である。安心・安全が目で見える地場産食材の提供は可能ではないか。作る側の農業から、農薬使用に関する

情報の提供等や、環境にやさしい安心・安全な食事をとる側の農業政策へと転換すべきではないか。子ども達が土に触れる農業を体験し、土への愛着、恩恵を理解し、循環環境を学び、進んで学校

給食に取り入れることが出来ないか。大変な努力をされている農業生産者が一体となる農政事業・スローフード運動と、どう取り組まれるか。

**答** 滝口町長 安心・安全が目に見える地産地消の思いは強く持つが、市場経済との間に大きなギャップがある。地場食材の提供・PRを進める。農薬に関しては県内最初のトレーサビリティであり、関係機関と一緒に生産者を指導し、消費者と共通理解を進め、食の安心・安全につながることを考える。

小学校の学習田で稲作体験等をして地場産の食



農産物直売所「ふうど(風土)」

郷土料理・味・技を大切にし、消費者の食の教育を推進し、心の通う人間らしい社会に戻したい。



## 一般質問

我妻弘國 議員

**問** 県水球プールを障害者と付添いの方に無料で、65歳以上の方々には減免での開放を要望。

**答** 県側に減免措置を要望しており、実現した時には仙台大学の協力を得て施設を運営したい。

**問** 西住地区と新栄通線を結ぶ新道路の建設を考えてはどうか。

**答** 地域生活の強化、地域発展を考えて将来の新道路建設計画を研究してみたい。

太田研光 議員

**問** 町長は町内の会合に出席し、「合併のための住民投票に意欲を」と報じられているが。

**答** 住民投票をするぐらいの町民の盛り上がりがないと、新市は難しい主旨で発言した。

舟山邦夫 議員

**問** なぜ貸した町有地。ホテル原田駐車場。

**答** 平成6年に町が約1億2,640万円で取得。遊休地化を防ぐ為、年約169万円で貸した。

**問** 高すぎる保育所の保育料。

**答** 特に柴田町が高いというわけではない。

**問** 週3回から週2回になぜ変えたの、燃えるゴミ。

**答** ビンの資源化率を高めるため、月1回から月3回の色別回収にした。

杉本五郎 議員

**問** 介護保険制度は要介護者のニーズと被保険者の意向を集めて作り上げていくべきものだ。

**答** 公募による策定委員の中に、現に要介護者を抱えている方や、被保険者も含まれている。

小丸 淳 議員

**問** 学校体育施設の開放日等の見直し並びに運動場使用者に対するトイレ利用の改善措置を。

**答** 現状に即した規則の改正を行う。トイレ利用に関しては調整会議の際に再度徹底を図る。

佐藤輝雄 議員

**問** 社会教育関係の貸し館の代行員勤務時間を利用者の利便を考え、ずらせないか。

**答** 利用者と管理する方の終了時間の同一には無理があり、検討する。

**問** 貸し館に設置しているピンク電話は押しなべて大幅赤字なので撤収し、代替案を考えては。

**答** 利用者の多い槻木文化センターと柴田町コミセンは残し、他はそのように考えたい。

白内恵美子 議員

**問** 「子どもの権利条約」の理念と精神を生かした、子育て・子育ての理念の確立を。

**答** 子どもの施策に責任を持つ部署を明確にし、部局・課を超えた横断的組織作りを検討する。

**問** 一人ひとりの子どもを大切に育むため、子育てを支援する「子育てサポーター」の導入を。

**答** 町の子育て支援事業はまだ不十分である。「子育てサポーター」は16年度より導入する。

星 吉郎 議員

**問** 県営水球プールの活性化と管理負担問題をどう進めていくのか。

**答** 町民の健康増進のため一層の努力を図り県との交渉も負担割合を変えないよう努力する。

加茂紀代子 議員

**問** 観光素材の多い柴田町。観光客の誘致とPR、四季を通しての観光計画とマップは。

**答** 多種のPRをした桜まつりは、多くの客が来町した。やる気がおもてなしになる。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

# 員会リポート

## 文教厚生常任委員会

- 日時 5月28日、29日
- 調査課 生活環境課、健康推進課、福祉課、教育総務課、社会教育課



(1) 学校給食において、柴田町で生産される農産物の豊かさ、新鮮さを見つめ直すとともに、「食」を通じた多面的な学習を図るため、地場産の農産物やその加工品の導入について検討されたい。

(2) 県から受託した水球プールの運営は、コーチスタッフの常時配置や各種教室の開催等、利用者

の増加策を検討、実施されたい。利用料金は、より町民が使いやすい金額に設定するよう、県との調整を図られたい。

(3) 介護保険におけるショートステイは、介護者の急務時の他、多様化する利用希望に対応できるよう、十分なベッド数の確保を図られたい。

## 文教厚生常任委員会

## 総務常任委員会

- 日時 5月20日、21日
- 調査課 総務課、企画調整課、財政課、税務課、町民課、会計課、槻木事務所

(1) 税負担の公平性から、新たな滞納対策を検討されたい。

(2) まちづくりを町民自らが考え、主体的に行動することを目的として設立された「柴田町まちづくり委員会」であるが、一般町民から遊離した組織にならないように、そして地に足が着いた具体的な提言がなされるように、

(3) しばらくの間は担当課でリードされたい。

(4) I-Tは町民生活に役立つことを第一とし、地域イントラネットをわかり易くPRするよう努められたい。

(5) 総合案内の設置等、町民に対する接遇の向上は大いに評価する。全職員に定着するよう、更なる推進を期待する。

## 総務常任委員会



## 議会からの指摘事項 (常任委員会報告書より)

# 常任委員会

### 建設常任委員会

- 日時 5月12日、13日
- 調査課 建設課、都市計画課、  
下水道課、水道事業所

### 産業経済常任委員会

- 日時 5月26日、27日
- 調査課 農政課、商工観光課、  
農業委員会



### 産業経済常任委員会

- (1) 槻木地区県営ほ場整備事業は順調に進捗している。事業完成時には補完工を実施し、より良いほ場となるよう関係機関と調整されたい。
- (2) 仙南地域職業訓練センターは、新入社員や管理者等の能力向上に大きく貢献している。特にパソコン講座は受講者の拡大に努めているが、短期課程終了だけでは職場のO A機器に対応できない人が多く、中級課程まで導入するよう職業訓練協会へ提言されたい。
- (3) シルバー人材センターは事業拡大も大切であるが、設立の趣旨に沿って会員の健康、生きがいづくりに一層配慮した着実な業務の推進が図られるよう指導されたい。

### 建設常任委員会

- (1) 二本杉町営住宅建替事業8号棟新築工事は、平成15年10月末の完成に向けて当初工程どおり順調に進捗中である。今後無事故、無災害で工期内の完成に努力されたい。なお、入居者募集の際には、広く町民に広報されたい。
- (2) 山田沢配水場整備工事は、配水池の築造や監視装置の整備、送・配水管布設工事等総合的に行われているが、町民への安全・安心な飲料水確保のため、設計どおりに施工されるよう細心の注意をもって監理されたい。



## 議会広報が変わりました

今回、町民の方々により読んでもらえるようにとの思いで、議会広報を少し変えました。

### 5段組を6段組へ

◇人が文字を読む時、1行が長いと苦痛に感じます。議会広報は11字ぐらいが適当と考えました。

◇レイアウト上、紙面に変化がつけやすく、写真の利用もしやすくなると考えました。一般質問には質問者の写真も掲載

◇質問者の写真を載せることにより、質問により現実性が感じられると思います。

## より見やすく



町議会議員

## 伊藤智幸氏急逝

柴田町議会議員伊藤智幸氏（船岡中央3-18-37）は、去る7月14日病気のた

め亡くなられました。伊藤智幸氏は産業経済常任委員会及び議会広報特別委員会に所属され、これからの活躍が期待されておりました。

ここに生前のご功績を偲び謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 一言

## あなたの



まごめ まゆみ  
真 籠 真由美 さん  
(船岡東原町)

### ○第一幼稚園に何か望むことは。

・幼稚園の駐車場は狭く、迎えに行った時に車が入りきれないので、不便を感じています。

・幼稚園南側沿いの植込みで、近くの交差点右側の視界が悪く、交通事故が心配です。

### ○町に何か望むことは。

・燃えるごみの回収が週3回から2回になって、生ごみの保管が長くなって困っています。

・ごみ袋は柴田町専用のものですが、他町と共通でもっと安くはならないですか。

### ○いま、子育てでどんなことに関心を持っていますか。

・小学生の子供のことですが、先生からは子供の学校での様子については、ほとんど話していただ

けないので、学校でのようにして過ごしているか心配です。

・近くの知り合い宅に、時々グループで集まって子育てなどを話し合い、一人で悩まないようにしています。

### ○柴田町に住んでよかったと思えますか。

・自然に恵まれています。どこに買い物に行くにも車がないと不便な町です。

・近くに小児科の病院があったらいいのと思っています。

### ○三町合併について関心がありますか。

・合併すると税金が高くなると思われるのですが、実際にはどうなるのですか。

## 未来へ向けて

## ぜひ、議会の傍聴を

第3回定例会は9月5日(金) 10時開催予定

一般質問は9月8日(月)・9日(火)の予定

●14年度の決算審議・認定も行われます。

詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

## 編集後記

この議会だよりが皆様の手が届く頃には、抜けるような夏の空になっていると思います。

私達の議会だよりも日本の四季同様、変化にとんだ見やすい読みやすい広報にと編集委員一同努力しております。

また、6月定例議会より傍聴の方々には議員と同じ一般質問通告書を用意しております。一度議場に足をお運び下さい。

編集委員長 舟山邦夫